

平成26年度 教育デザインセンター年報

1. 本年度の運営体制

1) スタッフ

センター長（併）教授 犬塚文雄

専任教員

高木展郎，犬塚文雄，大島 聡，野中陽一，米澤利明

兼務教員

池田敏和（学校教育課程 課程長）

堀内かおる（大学院運営委員長）

津野 宏（附属高度理科教員養成センター）

客員教授

西村正広（神奈川県立総合教育センター）

町田大樹（横浜市教育委員会事務局）

倉賀野滋（川崎市総合教育センター）

的場雄一郎（相模原市立総合学習センター）

宇佐美暁（横須賀市教育研究所）

主任研究員

三浦修一，白井達夫，山本金五，福島繁

事務補佐員 畑本久美子(edu-design@ml.ynu.ac.jp, 045-339-3481)

2) 部門構成

実践デザイン部門と研究デザイン部門の2部門で構成している。

3) 地域連携体制

神奈川県立総合教育センターを始め，横浜市教育委員会事務局，川崎市総合教育センター，相模原市立総合学習センター及び横須賀市教育研究所，との間で連携協定を結んでいる。

2. 研究活動

1) 「教育デザインセンターをハブとした都市型総合大学における教員養成システムの構築（平成23～27年度特別経費プロジェクト分—高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実—）」事業

（ア）教員養成フォーラムの実施

平成27年1月31日（土）の午前10時から12時までの2時間，岩崎学園横

浜西口1号館ホールにおいて、第4回目となる教員養成フォーラムを開催した。今回は、「教員の資質向上に大学は役に立っているのか」という統一テーマのもと、高木まさき学部長の基調提案を受け、各界の代表によるシンポジウムを行った。シンポジストは、以下の方々をお願いした。

シンポジスト

文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室長 橋田 裕

神奈川県教育委員会教育参事監 笠原陽子

横浜市立旭中学校長 藤岡謙一

現職派遣大学院生（横浜国立大学） 伊東有希

横浜国立大学教育人間科学部長 高木まさき

コーディネーター

横浜国立大学教育人間科学部教授 高木展郎

シンポジウムにおいては、主に大学の地域貢献の重要性と、教職大学院の設置に向けた取組の現状などが話題となった。参加者にも大変好評で、事後アンケートの「シンポジウムの内容は、これからの教員養成について考えるために役立つ内容でしたか」という設問に対しては、回答者の全員が「とても思う」または「思う」を選択していた。なお、当日の参加者は、計125名であった。

(イ) 学生・指導教員の学校への派遣と教員養成スタンダードの開発

今年度もまた、学生をスチューデントティーチャーとして拠点小学校並びに拠点中学校に派遣する取組を行った。これは、教育実習以外にも学生が日常的に学校現場に出向き、教員としての資質・能力を高めることを目的としている。派遣に当たっては、スーパーバイザー（退職校長）が同行し、学生の指導に当たった。

また、教員養成のための評価指標である「横浜スタンダード」の開発にも引き続き取り組んだ。本年度は、スーパーバイザーの方々に、拠点校でスチューデントティーチャーを指導した経験を踏まえて、「大学4年間で学生に身に付けて欲しい力」をまとめていただいた。そして、そうした資料を基にしながら、「横浜スタンダード」（小学校版及び中学校版）の第一次案を作成した。

2) 「教員生活全体を通じた教員育成の在り方検討会」

昨年度、本センターと神奈川県教育委員会とが連携し、「教員生活全体を通じた教員育成の在り方検討会」を立ち上げた。この検討会には、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市の各教育委員会の指導主事と神奈川県公立小（中）学校の校長会・教頭会の代表が参加し、主な事業として、県内の教員・指導主事を対象とした「教員生活全体を通じた教員育成の在り方アンケート」（回答者数3,832名）を実施した。そして、その結果を集計・分析し、冊子として刊行した。

この検討会は今年度も継続して設置され、アンケート結果の考察と、それに基づく5つの提言を行った。

- 【提言1】個人・学校・教育委員会の3つの学びの場を有効に機能させるとともに、それぞれの学びの場が連携を図っていくことが大切である。
- 【提言2】OJTが独りよがりなものにならないようにするためには、OJTと外部情報とをつないでいくことが大切である。
- 【提言3】教育委員会で受講した研修内容や成果を、校内の教職員に広げて行くような仕組みづくりが大切である。
- 【提言4】教育委員会が行う研修の重点を、年次別研修から目的別研修へとシフトする必要があるのではないかと。
- 【提言5】教員育成の充実・発展に向け、教育委員会・学校と大学との連携を一層深めることが求められている。

また、この提言に基づき、これからの研修の在り方についての具体的な方法等も考察し、A4判54ページの冊子にまとめ、県内すべての公立学校と、県内各教育委員会の管理職並びに指導主事の全員に配付した。

3) 神奈川県生徒指導課題検討委員会

～現代の子どもたちを「6つの脅威」から守るための教員用ガイドブック作成プロジェクト～

現在、我が国の学校には、不登校やいじめのみならず、子どもたちを取り巻くさまざまな深刻な問題が存在している。神奈川県でも、いじめ等による自殺、児童虐待、体罰等、子どもたちの安全に関する不幸な事件がいくつか報道されている。子どもたちの周りには、安全や生命までも脅かされる状況が至るところに潜んでいると言っても過言ではない。現代の子どもたちを取り巻く学校内外のさまざまな「脅威」から子どもたちを守ることは最優先で対応すべき喫緊の教育課題の一つと言ってよい。

今、すべての学校、教員が子どもたちの安全に関する問題により一層適切な対応ができるように、共通認識をどう広めていくか、学校と家庭・地域・関係機関との有効な連携をどうつくっていくか、教育委員会や学校のリーダーシップをどう高め発揮していくか等について、早急に実効性の高い研究が強く求められている。

そこで、本センターは、県教委はじめ神奈川県内の教育委員会と協働して、「神奈川県生徒指導課題検討委員会」を設置し、平成25年度にはいじめ防止の研究を行い「いじめ防止対策啓発ポスター」の作成・配付を行ったのに続き、今年度は、現代の子どもたちを取り巻く学校内外のさまざまな脅威から子どもたちを守るための研究を進め、安全の向上に資する教員対象のガイドブックの作成に取り組んだ。そのガイドブックは、昨年度に引き続き、横浜国立大学教育人間科学部後援会の協賛を受けて42,000部を印刷し、県内の公立学校教員全員と横浜国立大学教育人間科学部学校教育課程の学生全員に配付予定である。

ガイドブックでは、現代の子どもたちに向けられた「脅威」として、本来はあってはならない「脅威」を6つの視点から注目し、「脅威」の予兆となる子どもたち

の“異変”に気づくための教員の気づきセンサーの感度を高めることを重視した。

作成したガイドブックの活用法としては、主に①6つの脅威に共通する異変に気づくためのチェックリスト、②6つの脅威別のチェックリストで異変に対する気づきの掘り起こし、③チーム内でのそれぞれの気づきのシェアリング(分かち合い)等を想定している。さらに、④共有化できた異変に対し、どのように理解し対処していったらよいかチームで検討することにも活用することを想定している。巻末には、専門の相談連携機関の最新のリンク集も載せた。このガイドブックが、子どもたちに向けられた6つの「脅威」に対して、教員がスクラムを組んで早期発見、未然防止、早期対応等に取り組む際の共通テキストとして、チーム支援体制の構築に向けた基礎資料として、有効活用されることを期待している。

3. 地域連携事業

1) アドバイザリースタッフ派遣事業

- ・アドバイザリースタッフ登録者名簿（別紙資料1）
- ・アドバイザリースタッフ派遣実績（別紙資料2）

2) 連携研修講座

①「いじめ不登校への対応」研修講座

日 時：平成26年8月5日（火）9:30～12:30

場 所：横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター302講義室

講 師：横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター長 犬塚 文雄

受講者：59名

いじめ・不登校問題の動向や3つの提案（予防に向けた提案，早期発見・未然防止に向けた提案，保護者への対応に向けた提案）についての講義の後，提案された内容についてグループ協議を行い，困難点打開に向けての独自提案を作成した。

②「発達障害のある子どもの行動問題への支援」研修講座

日 時：平成26年8月5日（火）13:30～16:30

場 所：横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター302講義室

講 師：横浜国立大学教育人間科学部 渡部匡隆 教授

受講者：69名

子どもの行動問題を理解する手立てとして，行動の直前および直後の状況と，子どもの行動との因果関係を分析する方法（ABC分析法）について理解した。そして，実際の行動問題について，ビデオを視聴しながらインターバル記録法を用いて記録し，ABC分析法にあてはめ検討を行った。

③企業から学ぶ

「東京ディズニーリゾートをささえる『ホスピタリティ』」研修講座

日 時：平成 26 年 8 月 15 日（金）13：30～16：30

場 所：横浜国立大学教育人間科学部講義棟 6 号館 101 講義室

講 師：株式会社オリエンタルランド社員

受講者：201 名

東京ディズニーリゾートを支える「ホスピタリティマインド」の考え方やキャストが実践している行動基準「4つの鍵」の取組等を学ぶことを通して、他者と効果的なコミュニケーションをとるためのポイントや学校での人間関係づくりに生かす方法について理解を深めた。

④「授業デザイン」研修講座

日 時：平成 26 年 8 月 22 日（金）13:30～16:30

場 所：横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター 302 講義室

講 師：横浜国立大学教育人間科学部 有元典文 教授

受講者：56 名

最新の学習理論にもとづいた授業デザイン・活動デザインの考え方を学ぶとともに、ワークショップやディスカッションを通して、「未来の自分を目指す、学習の必然性のある場づくり」の視点で授業づくり・活動づくりを考えた。

3) 講義、公開講座

教養教育科目「学校教育最前線」（対象学部：共通，対象学年：1～4）

<講義テーマ一覧>

- ①4月 7日 高木 展郎 「今、求められる学力とは」
(教授・教育デザインセンター)
- ②4月 14日 白井 達夫 「授業を変える」
(主任研究員・教育デザインセンター)
- ③4月 21日 山本 金五 「授業づくりと学級経営」
(主任研究員・教育デザインセンター)
- ④4月 28日 福島 繁 「最近の高校事情」
(主任研究員・教育デザインセンター)
- ⑤5月 12日 的場 雄一郎 「学級集団作りを考える」
(客員教授・相模原市教育委員会)
- ⑥5月 19日 宇佐美 暁 「問題解決の授業づくり」
(客員教授・横須賀市教育委員会)
- ⑦5月 26日 西村 正広 「数学・算数の面白さを伝えよう」
(客員教授・神奈川県教育委員会)

- ⑧6月2日 倉賀野 滋「学習指導と評価」
(客員教授・川崎市教育委員会)
- ⑨6月9日 町田 大樹「今、教員に求められるコミュニケーション力～コミュニケーションの場としての学校～」
(客員教授・横浜市教育委員会)
- ⑩6月16日 的場 雄一郎「体験活動の充実」
(客員教授・相模原市教育委員会)
- ⑪6月23日 宇佐美 暁「小学校における学習評価」
(客員教授・横須賀市教育委員会)
- ⑫6月30日 倉賀野 滋「キャリア教育」
(客員教授・川崎市教育委員会)
- ⑬7月7日 町田 大樹「授業力向上の鍵」
(客員教授・横浜市教育委員会)
- ⑭7月14日 西村 正広「子どもたちのインターネット利用～闇から光へ」
(客員教授・神奈川県教育委員会)
- ⑮7月23日 米澤 利明「月曜日を楽しくするために」 ※レポート提出
(水曜日) (准教授・教育デザインセンター)
レポート課題；現代の学校教育の課題と対応策

4) 教員免許状更新講習

平成26年8月11日(月)、12日(火)に神奈川県立総合教育センター、横浜市教育センター、川崎市総合教育センター、横須賀市教育研究所、相模原市立総合学習センターと大学をテレビ会議システムで結び、必修科目「教育の最新事情」を開講した。また、講習用テキストを開発した。

最終的な受講者数は、以下の通り。

定員	526名
申込	458名
出席	451名
欠席	7名

会場：横浜国立大学 139/135 (出席/定員)

会場：神奈川県立総合教育センター 64/66

会場：横浜市教育委員会事務局 花咲研修室 98/100

会場：川崎市総合教育センター 82/100

会場：相模原市立総合学習センター 25/45

会場：横須賀市教育研究所 43/80

5) 全県指導主事講習

平成26年4月9日(水)に、「これからの時代における授業と評価」確かな学力を育てるためにー学習評価を踏まえた授業づくりのみちすじー(高木展郎教授)の講義を県内5会場(神奈川県,横浜市,川崎市,相模原市,横須賀市)の指導主事を対象にテレビ会議システムで配信した。別途,平塚でも18時より開催した。

6) 長期研究員講習

平成26年4月16日(水)に、「今求められている授業づくりと研究の進め方」(高木展郎教授)の講義を県内5会場(神奈川県,横浜市,川崎市,相模原市,横須賀市)の長期研究員を対象にテレビ会議システムで配信した。

7) 非常勤講師等研修会

神奈川県内の,現職で勤務している非常勤講師,臨時的任用職員・非常勤講師として登録した者,希望する臨時的任用職員を対象とした研修会を5月と10月に実施した。横浜市などの一部会場については,テレビ会議システムで配信した。

<前期>

第1回目 5月14日(水)

講師:附属教育デザインセンター 高木展郎教授

「新指導要領実施期における新しい授業づくり~授業をどうするのか~」

第2回目 5月21日(水)

講師:附属教育デザインセンター長 犬塚文雄教授

「子ども理解を踏まえた授業づくりー子どもの心に響く授業を!ー」

第3回目 5月28日(水)

講師:附属教育デザインセンター 高木展郎教授

「授業の組み立て方と評価~今・そしてこれからの授業観~」

<後期>

第1回目 10月7日(火)

講師:附属教育デザインセンター 高木展郎教授

「新指導要領実施期における新しい授業づくり~授業をどうするのか~」

第2回目 10月14日(火)

講師:附属教育デザインセンター長 犬塚文雄教授

「子ども理解を踏まえた授業づくりー子どもの心に響く授業を!ー」

第3回目 10月21日(火)

講師:附属教育デザインセンター 高木展郎教授

「授業の組み立て方と評価~今・そしてこれからの授業観~」

8) 国語教育デザインフォーラム

昨年度に続き、平成26年8月14日(木)に、平塚市教育会館において「国語教育デザインフォーラム in HIRATSUKA」を開催した。「講演やシンポジウムを聞くだけの研修から、全員で話し合い、学び合う研修会への転換を図る」との理念を引き継ぎ、今年度も外部講師を招かず、教育デザインセンタースタッフと参加者だけでつくる会とした。なお、今年度はワールドカフェ方式を取り入れ、従前以上に自由な話し合いができるよう考えた。本センターの高木展郎教授の基調提案を受け、参加者は次の4つの課題について意見交換を行った。

【課題1】子ども同士で学び合う授業づくり

【課題2】国語科における言語活動の充実

【課題3】教材全体を視野に入れた「読むこと」の指導

【課題4】国語科における観点別評価の充実

お盆週間での開催であるにもかかわらず100名を越える参加者があり、各校種の教員が入り混じって活発な話し合いが行われた。4時間の会であったが、時間が足りなかったという声も聞かれるなど、たいへん充実した会となった。

9) 教育実践フォーラム2015

平成27(2015)年1月31日(土)に教育実践フォーラム2015を開催した。

テーマを「良い授業を創るために～教師は何を目指せばよいのだろう～」として、寒川町立小谷小学校からは「聴いて・考えて・伝え合う授業を創る」、茅ヶ崎市立松浪中学校からは「授業で育てる～学び合いから育まれるもの～」という内容の実践報告があり、それを受けて参加者全員によるワールドカフェスタイルの交流を行った。

学校の教育活動の中心である授業については、これまでもその改善のためのさまざまな取組みが行われてきたが、多くの学校で、学力の向上と児童生徒の学習意欲を高めるための試行錯誤が続いている。今回のフォーラムでは、この課題にどのように取り組むかということについて、小学校と中学校から、学校としての取組の紹介があり、課題を提起するだけでなく学校における実践の報告を抛り所として、参加者が課題を共有したり新たな取り組みの端緒を見出したりする場を提供することができた。

参加者からは、授業改善についての方向性を理解することができた、多くの方と交流ができ多様な考え方に接することができた、学校が組織として取り組むことの意味や方法について多くの示唆を得ることができた、などの声が寄せられた。

10) 附属学校教員の10年経験者研修

平成26年度は、受講者なし。

1 1) 「教師として成長し続けるために」の配布

教育デザインセンターのホームページからダウンロードを可能とした（パスワード別途配布）。配布先については、別紙資料3。

4. その他

1) 連携融合推進会議

ア) 平成26年度第1回 連携融合事業推進会議

日時：平成26年6月11日（水） 15:00～16:30

場所：横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター 206教室

(1) 学部長挨拶

(2) 出席者紹介

神奈川県立総合教育センター 所長 林誠之介

横浜市教育委員会事務局 横浜市教育センター長代理 平本正則

川崎市総合教育センター 所長 江間 薫

相模原市立総合学習センター 所長 金井秀夫

横須賀市教育研究所 所長 市川敦義

横浜国立大学教育人間科学部長 高木まさき

横浜国立大学教育人間科学部事務長 渡邊敏郎

(3) 所員紹介

(4) 報告事項

①平成26年度全県指導主事講習について

②平成26年度長期研究員講習について

③非常勤講師等研修会について

④平成26年度教育デザインセンター実施の免許状更新講習について

⑤「教育デザインセンターをハブとした都市型総合大学における教員養成システムの構築」についての経過報告

⑥平成25年度「教職生活全体を通じた教員養成の在り方」検討会について

⑦平成25年度神奈川県生徒指導課題検討委員会について

(5) 協議事項

①連携協力による研究事業の推進の可能性について

「教職生活全体を通じた教員養成の在り方」検討会について

②神奈川県生徒指導課題検討委員会について

(6) その他

①国語教育デザインフォーラムの開催について

②平成26年度「教育実践フォーラム」の開催について

③平成26年度「教員養成フォーラム」の開催について

イ) 平成 26 年度第 2 回 連携融合推進会議

日時：平成 27 年 3 月 11 日（水） 15:00～16:30

場所：横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター 206 教室

(1) 学部長挨拶

(2) 出席者紹介

神奈川県立総合教育センター 所長 林誠之介

横浜市教育委員会事務局 指導部長代理

教職員人事部教職員人事課 担当課長 増田清美

横浜市教育委員会事務局 教職員人事部教職員育成課 指導主事 田中保樹

川崎市総合教育センター カリキュラムセンター 担当課長 榎原真也

横須賀市教育研究所 所長 市川敦義

横浜国立大学教育人間科学部長 高木まさき

(3) 所員紹介

(4) 報告事項

①平成 26 年度教育デザインセンター事業報告

- ・アドバイザースタッフ派遣事業について
- ・全県指導主事講習について
- ・長期研究員講習について
- ・教育デザインセンター実施の教員免許状更新講習について
- ・非常勤講師等研修会（1）（2）について
- ・連携研修講座について
- ・教員養成フォーラム・教育実践フォーラム 2015 について
- ・国語教育デザインフォーラムについて

②「教育デザインセンターをハブとした都市型総合大学における教員養成システムの構築」についての経過報告

③連携協力による研究事業の推進

- ・神奈川県生徒指導課題検討委員会について
- ・「教員生活全体を通じた教員養成の在り方検討会」について

(5) 協議事項

①アドバイザースタッフ派遣事業の確認事項について

②平成 27 年度 全県指導主事講習について

③平成 27 年度 長期研究員講習について

④平成 27 年度 非常勤講師等研修会について

⑤平成 27 年度 連携研修講座について

⑥平成 27 年度 教員免許状更新講習について

⑦平成 28 年度 教員免許状更新講習におけるテレビ会議システムの継続について

⑧連携協力による研究事業の推進について

(6) その他

- ①平成 27 年度 教員養成フォーラムの開催について
- ②教育実践フォーラム 2016 の開催について
- ③平成 27 年度 国語教育デザインフォーラムについて

別紙資料1

スタッフ登録者名簿

所 属	氏 名	専 門 分 野
センター専任	高木 展郎	学習評価、教育課程、リカレント教育等
	大島 聡	情報教育、教育工学、遠隔授業等
	犬塚 文雄	生徒指導の各種(個別支援・集団支援・チームサポート)などのプログラム開発、特別活動領域での社会性育成プログラムの開発
	野中 陽一	ICT活用による授業改善、教育方法の工夫・改善、学校システムの改善等
	米澤 利明	教育課程、学校経営
センター研究員	三浦 修一	学校教育全般、学校経営、国語科教育
	白井 達夫	学校教育全般、学校経営、国語科教育
	山本 金五	学校教育全般、学校経営、社会科教育
	福島 繁	学校教育全般、学校経営
学校教育講座	新井 秀明	教育行財政学、教育法
	有元 典文	学習心理学・認知心理学 (学習環境のデザイン、学習に関する相談一般、コンピュータ利用教育)
国語・日本語講座	高木 まさき	国語科教育
	河野 俊之	日本語教育、日本語教師養成、音声教育
	青山 浩之	国語(書写)教育、書道教育、言語文化系教育
	三宅 晶子	古典文学、能・狂言、古典芸能、古典教育、伝統的言語文化教育
社会科教育講座	西脇 保幸	地域学習や地理教育に関すること
	重松 克也	社会科授業づくり、社会科授業分析
	多和田 雅保	日本近世史、地域史研究法、歴史資料調査法
	棚橋 信明	西洋近現代史、歴史教育
数学教育講座	馬場 裕	大学入試問題の解説、中学・高校の数学カリキュラムの解説、中学・高校において数学が役立っていること
	石田 淳一	小学校算数科教育の指導内容・指導方法・評価方法など
理科教育講座	森本 信也	理科の教授論、学習論、評価論
	加藤 圭司	小・中学校の理科授業構築やカリキュラム構成と評価、環境教育を中心とした総合的な学習の授業づくり
	鈴木 俊彰	化学・化学実験に関すること全般
	西 栄二郎	生物教育、環境教育、自然史博物館や動物園を利用した総合学習など
	平島 由美子	小・中学校理科(物理分野)での実験とものづくり
	津野 宏	化学教育など
生活科教育講座	西村 隆男	消費者教育に関する教員啓発、実践支援、金融など家庭経済に関する成人向け講話など
	金馬 国晴	生活科、総合的な学習、カリキュラムの全体構成、ワークショップ型・参画型授業
音楽教育講座	小川 昌文	音楽科教育、音楽授業実践、アメリカ合衆国の音楽教育(授業、教員養成、カリキュラム論)
	中嶋 俊夫	音楽科教育法、歌唱指導法、イタリア歌曲指導法
美術教育講座	大泉 義一	造形教育研究、授業研究、デザイン教育研究
	小池 研二	中学校美術科の授業実践、鑑賞教育
保健体育講座	高橋 和子	体育科教育、舞踊教育、からだ気づきに関するプログラム提供
	海老原 修	体育科学／健康科学
	田中 英登	熱中症の予防、生活環境と発育発達
	伊藤 信之	陸上競技、トレーニング論、コーチング論、バイオメカニクス
	物部 博文	保健学習、健康教育
	梅澤 秋久	小学校における「かかわり合い」の授業づくり、体育科教育、健康教育

所 属	氏 名	専 門 分 野
技術教育講座	但馬 文昭	中学技術における計測・制御
	横尾 恒隆	技術教育史、技術教育の国際比較、技術科教育実践論
	小林 大介	木材加工学、木材科学、木のものづくり指導
	坂本 智	機械加工、金属加工
	鬼藤 明仁	技術科教育、情報教育
家政教育講座	堀内 かおる	家庭科教育、参加型学習(ワークショップ)の方法論、ジェンダーと教育
	杉山 久仁子	食生活に関する問題についての講義、実験、実習
	薩本 弥生	衣服の役割、衣服の快適性等衣生活に関すること
	工藤 由貴子	家庭科教育、生活経営学、家族関係学
英語教育講座	佐野 富士子	第二言語習得論、教室における第二言語習得、リーディングとライティングの統合的指導、アウトプットとしてのライティング研究
特別支援教育講座	高山 佳子	障害のある子どもに対する教育心理学的支援、保護者や教師に対する教育相談
	中川 辰雄	聴覚障害教育、聴覚管理、オージオロジー
	渡部 匡隆	発達障害児への個別指導・支援計画の立案・実施・評価、支援目標の課題分析・ABC分析・支援の手だてについて
臨床心理学講座	鈴木 朋子	臨床心理学、心理検査を用いた心の理解、保護者への対応を考える
人間文化課程	安藤 孝敏	児童・生徒と高齢者の世代間交流、高齢化教育(エイジング教育)

(別紙資料2)

平成26年度 アドバイザリースタッフ派遣実績

※実施希望日順に掲載しています。

	講師	実施 希望日	依頼者	依頼内容
1	石田淳一	4月9日	二宮町立二宮小学校	講演、指導助言、研究相談①
2	高木展郎	4月22日	県立総合教育センター	指導主事研修講座(高等学校)①
3	三浦修一	5月1日	三浦市立岬陽小学校	指導助言、研究相談①
4	三浦修一	5月19日	県立総合教育センター	新任副校長研修講座(県立学校)
5	高木展郎	5月28日	県立総合教育センター	新任校長研修講座(県立学校)
6	石田淳一	5月28日	相模原市立並木小学校	講演(算数科の授業づくりについての講義)
7	高木展郎	6月3日	県立総合教育センター	新任教頭研修講座(県立学校)
8	三浦修一	6月6日	三浦市立岬陽小学校	指導助言、研究相談②
9	高木展郎	6月10日	県立総合教育センター	新任校長研修講座(小・中学校)
10	物部博文	6月10日	神奈川県立平塚工科高等学校	講演(薬物乱用防止<高校1年生対象>)
11	物部博文	6月12日	神奈川県立横浜清陵総合高等学校	講演(性感染症について)
12	石田淳一	6月16日	二宮町立二宮小学校	講演、指導助言、研究相談②
13	犬塚文雄	6月16日	海老名市立海西中学校	講演(構成的グループエンカウンターを取り入れた人間関係づくりについて)
14	渡部匡隆	6月16日	県立総合教育センター	研究内容に関する助言①
15	犬塚文雄	6月19日	県立総合教育センター	神奈川県立総合教育センター アドバイザリー会議への出席・助言
16	物部博文	6月19日	神奈川県立有馬高等学校	講演(「1年生に対する性感染症予防」)
17	物部博文	6月23日	湘南三浦教育事務所	講演(「生活習慣改善から健康・体力向上へのアプローチ」)
18	白井達夫	6月23日	川崎市立新城小学校	講演、指導助言、研究相談(授業力向上に向けた取り組み)①
19	三浦修一	6月23日	寒川町立小谷小学校	指導助言、研究相談
20	物部博文	6月24日	神奈川県立座間高等学校	講演(「性感染症予防講演会」1年生対象)
21	石田淳一	6月25日	相模原市立並木小学校	講演、指導助言、研究相談
22	白井達夫	7月8日	川崎市立新城小学校	講演、指導助言、研究相談(授業力向上に向けた取り組み)②
23	有元典文	7月9日	神奈川県立座間高等学校	講演(薬物乱用防止講演会)
24	犬塚文雄	7月9日	横須賀市教育委員会学校教育部支援教育課	講演「不登校の未然防止のために何をすべきか」
25	山本金五	7月17日	座間市立栗原小学校	講演(言語活動の充実に関する考え方・実践事例等)
26	杉山久仁子	7月24日	厚木愛甲地区小学校教育研究会	講演、ワークショップ、指導助言、研究相談(厚木愛甲地区小学校教育研究会家庭科部会での研修)
27	青山浩之	7月30日	横浜市教育委員会指導部	講演(書写指導の基礎・基本について)
28	青山浩之	8月8日	県立総合教育センター	芸術(書道)の授業づくり研修講座「楷書・行書の表現Ⅰ」
29	青山浩之	8月8日	県立総合教育センター	芸術(書道)の授業づくり研修講座「楷書・行書の表現Ⅱ」
30	平島由美子	8月8日	横須賀市教育委員会 教育研究所	講演、ワークショップ(小学校における物理学実験の教材開発について)
31	平島由美子	8月8日	横須賀市教育委員会 教育研究所	講演、ワークショップ(中学校における物理学実験の教材開発について)
32	高木まさき	8月21日	県立総合教育センター	確かな学力をはぐくむ教科指導研修講座 小学校国語
33	山本金五	8月25日	厚木市立蔦尾小学校	講演(小中一貫教育研究事業。授業改善に関する講演)
34	有元典文	8月27日	神奈川県秦野市立北中学校	講演(授業デザイン・活動デザインについて)
35	佐野富士子	9月5日	川崎市立菅生中学校	指導助言、研究相談
36	白井達夫	9月9日	川崎市立新城小学校	講演、指導助言、研究相談(授業力向上に向けた取り組み)③
37	梅澤秋久	9月10日	川崎市立東高津小学校	指導助言、研究相談(校内授業研究会の講師)
38	野中陽一	9月11日	川崎市立平小学校	指導助言、研究相談①
39	杉山久仁子	9月18日	相模原市教育委員会総合学習センター	講演(「知識・技能の確実な習得を図る授業づくり～食生活から」)
41	佐野富士子	9月18日	大磯町立大磯中学校	指導助言(「よくわかる楽しい授業をめざして」をテーマにした校内研究について)
41	三浦修一	9月19日	三浦市立岬陽小学校	指導助言、研究相談③

	講師	実施 希望日	依頼者	依頼内容
42	白井達夫	9月22日	逗子市立逗子小学校	指導助言、研究相談(「国語科を中心に“言葉”を大切にしている指導の工夫をテーマに進めている校内研究について」①)
43	高木展郎	9月24日	県立総合教育センター	指導主事研修講座(高等学校)②
44	有元典文	9月25日	小田原市立泉中学校	指導助言(校内授業検討会に向けて、学習指導案の第一次検討会について)
45	白井達夫	10月3日	逗子市立逗子小学校	指導助言、研究相談(「国語科を中心に“言葉”を大切にしている指導の工夫をテーマに進めている校内研究について」②)
46	白井達夫	10月17日	川崎市立西丸子小学校	指導助言(校内研究についての指導助言)
47	杉山久仁子	10月21日	海老名市小学校教育研究会	講演
48	白井達夫	10月28日	川崎市立新城小学校	講演、指導助言、研究相談(授業力向上に向けた取り組みについて)①
49	小川昌文	10月29日	大磯町立大磯中学校	指導助言(音楽科教諭の研究授業への指導助言)
50	三浦修一	11月6日	三浦市立岬陽小学校	指導助言、研究相談④
51	三浦修一	11月7日	寒川町立小谷小学校	講演、ワークショップ、指導助言
52	山本金五	11月12日	座間市立栗原小学校	指導助言
53	森本信也	11月17日	南足柄市立足柄台中学校	講演、指導助言(「思考力・判断力・表現力を伸ばす指導の工夫」をテーマにした校内研究について)
54	物部博文	11月20日	神奈川県立綾瀬高等学校	講演(性教育講演会)
55	渡部匡隆	11月26日	県立総合教育センター	研究内容に関する助言②
56	白井達夫	11月27日	川崎市立新城小学校	講演、指導助言、研究相談(授業力向上に向けた取り組みについて)②
57	野中陽一	12月5日	川崎市立平小学校	指導助言、研究相談②
58	物部博文	12月5日	神奈川県立鶴見総合高等学校	講演(性感染症予防講座の講師<高校2年生対象>)
59	物部博文	12月15日	神奈川県立神奈川工業高等学校	講演(人間の尊重、望ましい人間関係・男女観の育成を図るための保健教育の一環としての「保健講話」の講師。第1学年とその保護者対象)
60	中川辰雄	12月15日	川崎市立聾学校	指導助言
61	白井達夫	12月18日	川崎市立新城小学校	講演、指導助言、研究相談(授業力向上に向けた取り組みについて)③
62	高木まさき	1月7日	川崎市立殿町小学校	講演、指導助言、研究相談(国語科教育の在り方、現在、これからなど)
63	犬塚文雄	1月13日	県立総合教育センター	神奈川県立総合教育センター アドバイザー会議への出席・助言
64	犬塚文雄	1月15日	県立総合教育センター	初任者研修講座課題解決力向上①
65	白井達夫	1月16日	逗子市立逗子小学校	指導助言、研究相談(「国語科を中心に“言葉”を大切にしている指導の工夫をとおりして」をテーマに進めている校内研究について)③
66	犬塚文雄	1月22日	県立総合教育センター	初任者研修講座課題解決力向上②
67	野中陽一	1月23日	川崎市立平小学校	指導助言、研究相談③
68	三浦修一	1月26日	三浦市立岬陽小学校	指導助言、研究相談⑤
69	犬塚文雄	1月29日	県立総合教育センター	初任者研修講座課題解決力向上③
70	石田淳一	2月4日	相模原市教育委員会・学校教育課・教育指導班	講演(算数の授業づくり、指導法等について)
71	渡部匡隆	2月17日	川崎市立田島支援学校	講演、指導助言、研究相談(「指導段階に基づく支援と手立て」をテーマに進めてきた研究の研修会講師)
72	物部博文	2月20日	中井町立中井中学校	講演(「エイズ・性感染症予防講座」の講師)
73	物部博文	2月23日	茅ヶ崎市立梅田中学校	講演(エイズを含めた性感染症に関する知識・理<中学3年生対象>)
74	物部博文	2月24日	南足柄市立南足柄中学校	講演(エイズ・性感染症予防講演会<中学3年生対象>)
75	渡部匡隆	2月27日	県立総合教育センター	研究内容に関する助言③
76	物部博文	3月17日	神奈川県立麻生高校	講演(性教育講演会<高校1年生対象>の講師)
77	高木展郎	3月19日	県立総合教育センター	指導主事研修講座(高等学校)③

	派遣回数	派遣箇所
教育委員会	25	7
小学校	31	14
中学校	10	9
高等学校	9	8
その他の学校	2	2
計	77	40

別紙資料3

平成27年3月31日

平成26年度 「教師として成長し続けるために」のダウンロード用パスワード送付先

	ダウンロード用パスワード送付先	認知経路	使用目的
1	中教育事務所	教育指導員	
2	横浜市教育委員会事務局	指導主事	臨任・非常勤研修の際の参考資料
3	神奈川県立総合教育センター	指導主事	
4	横須賀市立豊島小学校		
5	横須賀市立明浜小学校		免許状更新講習
6	横浜市立大綱小学校		
7	横浜市立永田小学校		
8	横浜市立三ツ沢小学校		
9	横浜市立上大岡小学校		
10	横浜市立鶴ヶ峯小学校		
11	横浜市立柏尾小学校		免許状更新講習
12	座間市立相武台東小学校		免許状更新講習
13	世田谷区立松沢小学校		免許状更新講習
14	川崎市立東門前小学校		
15	藤沢市立富士見台小学校		
16	二宮町立山西小学校	校長	新任校長研修講座
17	神奈川県大井町立湘光中学校	校長	授業研究等
18	茅ヶ崎市立松林中学校		
19	綾瀬市立綾北中学校	校長	校内研修会で資料として使用
20	横須賀市立池上中学校	教頭	
21	横浜市立上飯田中学校		
22	茅ヶ崎市立松林中学校	教頭	
23	三浦市立三崎中学校		
24	小田原市立酒匂中学校		
25	神奈川県開成町立文命中学校	教頭	職員からの要望
26	神奈川県立藤沢清流高等学校	校長	
27	横浜市立横浜総合高等学校		
28	横浜市立北綱島特別支援学校		
29	神奈川県立麻生養護学校		免許状更新講習
30	神奈川県立鎌倉養護学校		
31	更新講習出席者		免許状更新講習
32	三省堂国語教科書編集部		